

「外国人雇用に関するアンケート」概要

当協会は「ダイバーシティ経営」を推進しております。そこでダイバーシティを取り組むうえで、改めて「外国人雇用」について考えるために経営者協会が外国人雇用の状況などについてのアンケートを当協会会員企業対象に緊急アンケートを行った。概要は以下の通り。

～ 外国人雇用を経験している企業は半数以上、
採用活動中・検討中も含めると 67.5%と意欲的 ～

調査目的 : 「ダイバーシティ経営」を取り組む上で改めて外国人雇用について
の実態・動向を把握するため。

調査時期 : 2020年12月1日から12月11日。

調査対象 : 当協会会員企業413社。40社から回答をいただいた。

※今後、調査結果を基に当協会活動・運営の参考とさせていただきます。

結果概要

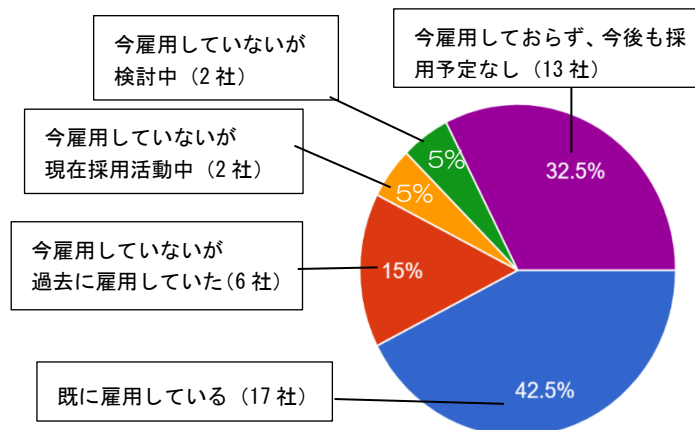
採用について

●日本人・外国人問わず人材採用において一番重視するポイント

人材採用において一番重視するポイントは「人柄やコミュニケーション能力」が26社(65.0%)と最も多く、「経験やスキル・資格」7社(17.5%)、「採用コスト」6社(15.0%)をあまり重視していない結果となった。

●外国人採用・雇用状況について

外国人雇用について何うと「既に雇用している」17社、「過去に雇用していた」6社となり、外国人雇用を経験している企業は半数以上となり、採用活動中、検討中まで含めると67.5%となった。



●その他外国人採用・雇用に関するご意見

- ・採用、雇用に際しては信頼できる人材紹介会社を利用すること重要と考えます。
- ・基本的には日本人と同様に選考し、同条件で採用しているの、基本的には日本人社員と何ら変わらない。能力に応じて日本語教育が増加する程度。
- ・優秀な海外人材がいるが日本での外国人：アジアなどへの偏見が強く、営業など外回りでは受け入れていただけないお客様がいる
- ・在留資格の確認は必須。